

第33回 全国豊かな 海づくり大会 ～くまもと～

「第33回全国豊かな海づくり大会～くまもと～」が10月26・27日、「育もう生命かがやく故郷の海」をテーマに熊本市、水俣市、天草市で開かれました。今号では、同大会の式典行事や本市で行われた放流行事、天草豊かな海づくりフェスタのようすをご紹介します。



①天皇、皇后両陛下による稚魚のお手渡し②功績団体表彰のようす③牛深ハイヤ踊りを披露する牛深ハイヤ保存会の皆さん



⑦⑧ステージイベントのようす⑨天草おさかなカルタ絵札の優秀作品の表彰を受けた小・中学生の皆さん⑩カルタとり大会⑪天草豊かな海物産市⑫船団パレード



天草豊かな海づくりフェスタには多くの人が出た。また、関連イベントとして「天草豊かな海づくりフェスタ」を同所で開催。牛深小学校6年生63人と天草地区漁業士会が、地元の練り物製造業者の協力を得て「世界一長いちくわづくり」に挑戦したほか、同大会を記念して制作された天草おさかなカルタ絵札優秀作品の表彰とカルタとり大会を実施。また、ステージではハイヤ踊りや太鼓の演奏などが披露されたほか、天草の海の幸がずらりと並んだ天草豊かな海物産市、地元の漁船40隻による勇壮な海上船団パレードなど盛りだくさんの催しが行われ、多くの人出でにぎわいを見せていました。

ギネス世界記録認定！ 世界一の長いちくわ！長さ33.9メートル！

これまでのギネス世界記録は25.6メートルで、今回は同大会の回数にちなんで33メートルを目標に挑戦。牛深産のアジなどで作ったすり身100キログラムを使用し、長さ36メートルのステンレス製のパイプを芯にして、炭火で約2時間をかけて焼き上げました。完成後は、ギネスワールドレコーズジャパンから派遣された公式認定員が、その場で長さを計測。認定員からギネス世界記録認定が発表されると、同校児童たちや関係者からは歓声が上がっていました。でき上がったちくわは、来場者などにふるまわれました。



⑬すり身を芯につける児童たち⑭炭火でじっくりと焼かれるちくわ⑮審査結果を発表する認定員(左)⑯ギネス世界記録認定を祝して児童と関係者たちで記念の1枚

天皇、皇后両陛下ご臨席のもとで式典行事。天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、熊本県立劇場で行われた式典行事には、行政や漁業関係者など約1,500人が参加。山鹿灯籠踊りの披露で幕が開けた後、有明海、八代海、天草灘の魅力が映像や踊りなどで表現され、市からは牛深ハイヤ保存会の皆さんが牛深ハイヤ踊りを披露しました。

その後、多分にわたり水産業の振興や自然環境の保全に取り組んでいる団体をたたえる、功績団体表彰を実施。天草漁協五和支所が資源管理型漁業部門で大会会長賞を受賞しました。同支所では、五和町でとれるウニや海藻のトサカノリの資源管理に取り組みしており、その功績が高く評価されたものです。

また、両陛下による放流稚魚のお手渡しが行われ、市を代表して天草漁協組合員で漁業後継者の原田誠さん(牛深町)と川端一裕さん(天草町大江)が、両陛下からマダイを放流しました。

天草漁協牛深総合支所・後浜荷捌所で行われた放流行事には、行政や漁業関係者、天草地域内の小学生など630人が参加。式典では、天皇皇后両陛下がお手渡しされた稚魚を原田さんと川端さんが会場に持参し、参加者に披露。その後、水俣市で行われた天皇、皇后両陛下による稚魚のご放流にあわせて、参加者や一般の来場者がマダイやヒラメ、イサキの稚魚3,900尾を放流しました。

3,900尾の稚魚を牛深の海へ放流



④放流をする親子連れ⑤天皇、皇后両陛下からお手渡しされた稚魚を披露する原田さん(右)と川端さん(左)⑥放流されたマダイの稚魚



完成！

「天草おさかなカルタ」

マダイやヒラメなど、天草の海でとれる46種類の魚を題材にしたカルタです。読み句は、全国2,806人・5,580点の応募の中から、カルタに描かれている絵札は天草地域の小・中学生が描いた作品の中から審査により決定しました。

本庁(別館)・水産振興課では、このカルタを2,000円(税込)で販売中です(数に限りがあります)。詳細は同課☎1111へ。